

令和7年度 年間授業計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	特別の教科 道徳				対象学年	1年	週時間	1時間	
使用教科書	「中学道徳 あすを生きる1」(日本文教出版) 「中学道徳 あすを生きる1 道徳ノート」(日本文教出版)				教科担当	今福 航、荻野 駿一 白樺 知樹、徳永 裕亜			
副教材	「キラリ ノート1」(正進社)								
授業計画									
授業の目標	○中学生としての自覚をもたせ、思いやりや敬愛の気持ち、礼儀を重んずる心を育て、望ましい生活習慣の確立を図る。 ○集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。								
	学期	月	単元	学習内容	配当時間	具体的な指導目標			
	1学 期	4	・難しい宿題 ・サッカーの漫画を描きたい ・人のフリみて ・“村人Bwには……”	D-(21) 感動、畏敬の念 A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志 B-(6) 思いやり、感謝 C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	3	・夢をもつことで前向きに努力できるようになることや、生活の中で小さな目標をもって取り組もうとすることについての発言や記述が見られたか。 ・自分の周りにはさまざまな支えが存在していることや、それを当たり前と思わないこと、感謝の気持ちを素直に表現する大切さなどについての発言や記述が見られたか。 ・所属するさまざまな集団のために自分自身ができるを見つけ、責任をもって行うことで自分や集団の成長や誇りが得されることや、よりよい集団の在り方についての発言や記述が見られたか。			
		5	・「愛情貯金」をはじめませんか ・さかなのなみだ ・言葉の向こうに	B-(7) 礼儀 C-(11) 囗正、公平、社会正義 B-(9) 相互理解、寛容	3	・あいさつが人間関係や社会生活を円滑にするものであることや、時、場所、場面に応じた言動をとろうとする発言や記述が見られたか。 ・よりよい集団を築くために、いじめなどを見て見ぬふりせず、集団の一員として積極的に行動しようとする発言や記述が見られたか。 ・自分の発する言葉の向こうにそれを受け取る他者がいることや、異なった考え方を受け入れることの大切さについての発言や記述が見られたか。			
		6	・葉っぱ切り絵で見えた道 ・ぱあぱ ・木の声を聞く ・疾走、自転車ライダー	A-(3) 向上心、個性の伸長 D-(19) 生命の尊さ D-(20) 自然愛護 A-(2) 節度、節制	5	・自らの経験を基に自己を見つめ、自分のよさを大切に、これから生き方の中でそれをさらに伸ばしていくうとする発言や記述が見られたか。 ・生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることや、自他の生命を尊重して生きたいといった発言や記述が見られたか。 ・人間が上の立場で自然を保護しようとすると自然の恵みをもらって生かしていただいているという塚本さんの考えに共感し、自然を守ることの意味を考え、自ら自然を愛護しようとするような意欲的な発言や記述が見られたか。 ・自身の安全や防災への備えなどについて捉え直そうとする発言や記述が見られたか。			
		7	・門掲き ・使っても大丈夫？	C-(12) 社会参画、公共の精神 C-(10) 遵法精神、公徳心	3	・「門掲き」に込められた助け合いの精神や社会連帯の大切さについて、深く考えているような発言や記述が見られたか。 ・法やきまりが社会でどんな役割を果たしているかを考え、自他の権利を重んじようとする発言や記述が見られたか。			
		8							
		9	・ソウタとミオ ・私らしさって？ ・震災を乗り越えて —復活した郷土芸能— ・どうして？	B-(8) 友情、信頼 A-(1) 自主、自律、自由と責任 C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 C-(11) 公正、公平、社会正義	3	・信頼し合える関係を築くために友達のよいところを見つけ、一層友達を大切にしたいといった発言や記述が見られたか。 ・周囲に惑わされず、自分の内にある規律に基づき、自分で考え、決め、行おうとすることの大切さについて自分自身との関わりの中で考えを深めたような発言や記述が見られたか。 ・地域に伝えられてきた伝統と文化を、自分たちが受け継いでいきたいといった発言や記述が見られたか。 ・友達の意見を聞きながら、公平性の判断基準について主体的に考えている発言や記述が見られたか。			
		10	・さよなら、ホストファミリー ・違いを乗り越えて ・バスと赤ちゃん ・三人の乗客	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 C-(18) 國際理解、國際貢獻 B-(6) 思いやり、感謝 B-(9) 相互理解、寛容	3	・国際社会に生きる日本人としての自覚について考え、日本のよさの理解や伝統と文化的な継承に努めようとする発言や記述が見られたか。 ・困難があつても、お互いの文化や習慣を尊重し合う関係を築くことの大切さに関する発言や記述が見られたか。 ・自分の周りには多くの人々の善意があることや、人間愛の精神をもって思いやりの心を能動的に示そうとする発言や記述が見られたか。 ・理解し合うという主題に沿い、自分の考えだけでなくそれぞれの立場を尊重し、いろいろな考え方があることなど、寛容の心、相互理解の大切さに関する発言や記述が見られたか。			
		11	・あらゆるものに神は宿っている ・あつたほうがいい? ・ふれあい直売所 ・あふれる愛	D-(20) 自然愛護 C-(12) 社会参画、公共の精神 C-(10) 遵法精神、公徳心 D-(19) 生命の尊さ	3	・人間は自然の一部であり、人間の力は有限であることや、自然に対して謙虚に向き合おうとすることについての発言や記述に見られたか。 ・身近にあっても解決が一筋縄ではいかない現代的な問題に対し、よりよい社会の実現を目指して、具体的な解決を自分なりに考えようとする意欲が発言や記述に見られたか。 ・安心して過ごせる温かな集団や社会を実現するために、進んできまりを守ろうとすることに關わる発言や記述が見られたか。 ・死を待つ人々でさえも救おうと懸命に活動するマザー・テレサの姿に共感し、そこから生命の重さを見つめて大切にしようとする発言や記述が見られたか。			
		12	・iPS細胞で難病を治したい ・その声は	A-(5) 真理の探究、創造 C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	3	・よりよい未来のために新しいものを創造していくことに対する意欲を示すような発言や記述が見られたか。 ・電車内での夫婦や周りの乗客の考えを自分ごととして捉え、家族の存在や在り方について考えている発言や記述が見られたか。			
主な学習内容と授業時数	3学期	1	・ゆうへ —生きていてくれてありがとう— ・旗 ・裏庭での出来事	D-(19) 生命の尊さ B-(8) 友情、信頼 A-(1) 自主、自律、自由と責任	3	・生きていることや生かされていることの意味について考え、生命のつながりや支え合いに関する発言や記述が見られたか。 ・双方に友達を励まし支えることの大切さについて、自分自身との関わりの中で考えている発言や記述が見られたか。 ・誠実な生き方を支える逃げない心や自分の誇りなどについて考え、自らも誠実に生きようとする発言や記述が見られたか。			
		2	・おじいさんの100ドル ・オーロラ —光のカーテン— ・オアシスの老人 ・私は清掃のプロになる	C-(18) 國際理解、國際貢獻 D-(21) 感動、畏敬の念 A-(3) 向上心、個性の伸長 C-(13) 勤労	3	・世界で起こる問題を自分たちに關わる問題として考え、「少しでも力になりたい」といった発言や記述が見られたか。 ・自然などのすばらしさに感動することのよさや、それによって人間の心が豊かになることについての発言や記述が見られたか。 ・自分のものの見方や考え方、自分の置かれた環境を前向きに見つめ直す大切さについて考えている発言や記述が見られたか。 ・心を込めて仕事をすることが、充実した生き方の追求や、社会や人々に貢献しようとする意欲につながるなどの発言や記述が見られたか。			
		3	・「肝心」のバスガイド ・いつわりのバイオリン	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 D-(22) よりよく生きる喜び	3	・自分のふるさとに対する再認識や、それを未来へ伝えていく大切さ、郷土の発展のために何ができるかなどに関する発言や記述が見られたか。 ・誰もがもつ人間の弱さや醜さに共感しながら、強さや気高さをもってよりよく生きていこうとする発言や記述が見られたか。			

指導時間 1学期：14時間、2学期：12時間、3学期：9時間、年間：35時間

評価について

- ・数値ではなく、記述によって評価する。
- ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。
- ・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。
- ・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。
- ・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。

令和7年度 年間授業計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	特別の教科 道徳	対象学年	2年	週時間	1時間
使用教科書	「中学生の道徳2」（あかつき教育図書） 「中学生の道徳ノート 自分を考える2」（あかつき教育図書）	教科担当	粕谷和宏、福本あゆみ 中島由香里、渡部啓太		
補助教材					

授業計画

授業の目標	○道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え方についての考えを深める。 ○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ○自主的に物事に取り組み、他の人々の個性や立場を尊重し、協力し合って集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。 ○学級や学校を愛し、自分の役割を果たして、よりよい学校生活の実現に対する意欲を高める。				
	学期	月	単元	学習内容	配当時間
主な学習内容と授業時数	1学 期	4	・道徳はじまりの時間 自分の人生って。 ・第二の水泳人生一池江璃花子 ・マイ・フェイバリット・ロード	・A1 自主、自律、自由と責任 ・A4 希望と勇気、克己と強い意志 ・C10 遵法精神、公徳心	3
		5	・ジョイス・あなたの「生きようとする力」 ・君、想像したことある？	・A1 自主、自律、自由と責任 ・D19 生命の尊さ ・C11 公正、公平、社会正義	2
		6	・消えない落書き ・闇の中の炎 ・樹齢七千年の杉 —屋久島・いつでも・どこでも・SNS	・D19 生命の尊さ ・A1 自主、自律、自由と責任 ・D21 感動、畏敬の念 ・B7 礼儀	5
		7	・ほどほどライン ・相馬野馬追の季節	・A2 節度、節制 ・C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	3
	2学 期	8			
		9	・加奈子の職場体験 ・ミスター・ヌードル —安藤百福 ・イチロー選手のグローブ ・虎	・C13 勤労 ・A5 真理の探究、創造 ・A4 希望と勇気、克己と強い意志 ・A3 向上心、個性の伸長	3
		10	・明かりの下の燭台 ・「がんばる」は僕の宿題 ・北の大地から 野生の猛禽を守る ・嵐のあとに	・C15 よりよい学校生活、集団生活の充実 ・B6 思いや、感謝 ・B9 相互理解、寛容 ・B8 友情、信頼	4
		11	・国一王貞治 ・よみがえった良心 ・地球の時間、ヒトの時間 ・その声は	・C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 ・D22 よりよく生きる喜び ・D20 自然愛護 ・B6 思いや、感謝	4
	3学 期	12	・天使の舞い降りた朝 ・あふれる愛—マザー・テレサ ・仏の銀蔵	・C14 家族愛、家庭生活の充実 ・D19 生命の尊さ ・C10 遵法精神、公徳心	3
		1	・足袋の季節 ・ゴリラのまねをした彼女 ・地下鉄で	・D22 よりよく生きる喜び ・B8 友情、信頼 ・B6 思いや、感謝	3
		2	・加山さんの願い ・迷惑とは何ぞ ・一冊のノート ・真珠の水—中村哲 ・ネパールのビール	・C12 社会参画、公共の精神 ・C11 公正、公平、社会正義 ・C14 家族愛、家庭生活の充実 ・C18 國際理解、國際貢獻 ・D22 よりよく生きる喜び	3
		3	・真珠の水—中村哲 ・ネパールのビール	・C18 國際理解、國際貢獻 ・D22 よりよく生きる喜び	2

指導時間 1学期：13時間、2学期：14時間、3学期：8時間、年間：35時間

評価について	・数値ではなく、記述によって評価する。 ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。 ・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。 ・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。 ・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。
--------	---

令和7年度 年間授業計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	特別の教科 道徳	対象学年	3年	週時間	1時間
使用教科書	「中学生の道徳 自分をのばす3」（あかつき教育図書） 「中学生の道徳ノート 自分をのばす3」（あかつき教育図書）	教科担当	伊東 森 長島 亮介 川崎 美幸 伊藤 景一郎		
補助教材					

授業計画

授業の目標	○道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え方についての考え方を深める。 ○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ○自らの役割と責任を自覚し、協力して集団生活の向上に努めるとともに、社会の一員として自己の人生を切り拓き社会に貢献する態度を育てる。 ○学級や学校を愛し、自分の役割を果たして、よりよい学校生活の実現に対する意欲を高める。					
	学期	月	単元	学習内容	配当時間	
主な学習内容と授業時数	1学期	4	・道徳 はじまりの時間 自分と向き合う ・夢へのステップ一大 谷翔平 ・おひだまり ・十五分後の奇跡	A3 向上心、個性の伸長 A4 希望と勇気、克己と強い意思 C14 家族愛、家庭生活の充実 D19 生命の尊さ	4	・人生は自己を見つめて、時に悩みながらも、個性を生かし、伸ばしていくことの連續であることに気づき、自らの向上を図る。 ・目標達成を目指して努力を積み重ねることは自信と次に向け挑戦する勇気をもたらすことにつき、自己の可能性を伸ばし、より高い目標の達成を目指そうとする道徳的態度を養う。 ・家族の愛情と自らの家族への敬愛の念とで生まれる絆に気づき、自分自身と家族の関係を見直し、よりよい家族関係を築いていくこととする道徳的実践意欲を培う。 ・人間の力を超えた生命の不思議さや尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重しようとする道徳的実践意欲を培う。
		5	・挨拶のちから ・ライバル ・卒業文集最後の二行 ・君たちはどう考え、どう生きるか	B7 礼儀 B8 友情、信頼 C11 公正、公平、社会正義 D22 よりよく生きる喜び	4	・相手の人格を認め、尊敬や感謝の念を伝える礼儀のよさや大切さに気づき、時と場に応じて適切な言動をとろうとする道徳的実践意欲を培う。 ・心から信頼できる友達のよさや大切さに気づき、信頼で結ばれ、互いに励まし合い、高め合う関係を築いていきたいと願う道徳的心情を育む。 ・人間性をないがしろにするいじめの残酷さと、そんな愚かないじめを引き起こす人間の弱さや醜さに気づき、差別や偏見、いじめや不正な言動を断固として許さない道徳的態度を養う。 ・さまざまな意見を読んで、いじめと人間としての生き方について考え、いじめの残酷さやその根底にある人間の弱さや醜さに気づき、自らの弱さや醜さと向き合って、それを乗り越えていくこととする道徳的態度を養う。
		6	・六万円のご縁 ・監督がくれたメダル ・ピヨ子 ・リアルとネットの不思議	B6 思いや、感謝 C15 よりよい学校生活、集団生活の充実 A1 自主、自律、自由と責任 A2 節度、節制	4	・互いを思いやり、尊重し合う人間愛の尊さに気づき、思いやりをもって人と接するとともに、自分を支えてくれる人々に感謝し、応えようとする道徳的態度を養う。 ・集団における役割を果たすよさや大切さに気づき、自己の所属する集団の意義や役割を理解し、責任を自覚して集団生活への充実に努める道徳的実践意欲を培う。 ・情報社会における行為と責任の関係を見つめ直すことの大切さに気づき、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。 ・情報機器では度を過ぎしやすくなることの要因とより慎重に考えることの大切さに気づき、節度を守り、安全で調和のある生活を送ろうとする道徳的判断力を高める。
		7	・海と空—樺野の人々 ・ベビーカー論争	C18 國際理解、國際貢獻 C10 遵法精神、公徳心	2	・国境を越えて助け合う人間のよさや気高さに気づき、世界の平和と人類の発展のため、他国の人々と支え合い、助け合うことを願う道徳的心情を育む。 ・社会生活における公徳心の大切さに気づき、遵法精神とそれを支える公徳心を大切にして、誰もが暮らしやすい安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。
	2学期	8				
		9	・目の見えない白鳥さんとアートを見にいく ・分身ロボットカフェへようこそ ・月明りで見送った夜汽車 ・ドナー	B9 相互理解、寛容 C13 勤労 B6 思いや、感謝 D19 生命の尊さ	4	・いろいろなものの見方や考え方を学ぶことで自己を高めていくことに気づかせ、寛容の心でそれぞれの個性や立場を尊重しようとする道徳的態度を養う。 ・自分の能力を發揮して、社会に参加することで得られる勤労の喜びや充実感に気づき、勤労を通じて社会に貢献していくこととする道徳的実践意欲を培う。 ・相手の重荷にならない思いやりのよさや大切さに気づき、深い理解と共感に基づく思いやりの心を大切にする道徳的心情を育む。 ・生命倫理の問題について考えることを通して、人間の生命は多面的・多角的にとらえることができることに気づき、自他の生命の尊厳を守る道徳的態度を養う。
		10	・リクエスト ・二通の手紙 ・風に立つライオン	A1 自主、自律、自由と責任 C10 遵法精神、公徳心 A4 希望と勇気、克己と強い意思	3	・自律的な思考や判断と責任の大切さに気づき、自主的によく考えて判断し、行動の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。 ・法やまりには安全や秩序を守るなど立法された意義があることに気づき、主体的に遵法することで規律ある安定した社会の実現に努める道徳的判断力を高める。 ・人生の理想を追い求める生き方を支える意志や希望に気づき、自らの人生を切り拓いていく気高さを尊ぶ道徳的心情を育む。
		11	・二人の進路選択 ・小浜のさば缶、宇宙へ行く ・二人の弟子 ・尊い玉子	B8 友情、信頼 A5 真理の探究、創造 D22 よりよく生きる喜び C14 家族愛、家庭生活の充実	4	・互いの人間性を信じて思いを伝え合える信頼の大切さに気づき、互いに理解を深め、悩みや葛藤を経験しながら築かれた信頼に基づく人間関係を尊ぶ道徳的心情を育む。 ・新しい可能性への好奇心や探究心のよさや大切さに気づき、真理を探求して、新しいものを生み出していくこととする道徳的実践意欲を培う。 ・自己の弱さや醜さを乗り越えようとする人間の強さや気高さに気づき、人間としてよりよく生きる喜びを見いだしていくこととする道徳的実践意欲を培う。 ・深い愛情で結ばれた家族のよさに気づき、感謝と敬愛の念をもって家庭生活を築き、共に支え合う家族を大切にする道徳的心情を育む。
	3学期	12	・襟裳のこと ・ゼロ・ウェイストの町—徳島県上勝町	D20 自然愛護 C12 社会参画、公共の精神	2	・人間が自然と共存していくことについて話し合うことを通して、自然の崇高さや自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。 ・社会の形成に主体的に参画し、多くの人々と助け合いながら社会連帯を深め、社会的な役割を果たす大切さに気づき、よりよい社会の実現を目指す道徳的実践意欲を培う。
		1	・ある元旦のこと ・誰かのために ・ネルソン・マンデラ	B6 思いや、感謝 D19 生命の尊さ C11 公正、公平、社会正義	3	・人と人の心の通い合いのよさに気づき、人は互いに支え合って生きていることを自覚し、思いやりと感謝の心をもって他者に接しようとする道徳的実践意欲を培う。 ・「誰かのために生きる」ことについて考えることを通して、生命の尊さを有限性や関係性など多面的・多角的に理解し、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。 ・差別する人間の弱さと受け入れる者の強さに気づき、正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接して、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。
		2	・響け、私のトロンボーン ・運命の木—姫路城の大柱 ・メジロ	D22 よりよく生きる喜び C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 D21 感動、畏敬の念	3	・人間としての誇りある生き方のよさや気高さに気づき、自らも弱さや醜さを乗り越えながら、よりよく生きていこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・先人の残した伝統文化の大切さとそれを守り受け継いでいくことの意義に気づき、我が国の優れた文化の継承と文化的創造に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。 ・人間には人の力を超えたものを素直に感じ取り、畏れ敬う心があることに気づき、生命の尊さを自覚し、人間としてのあり方を見つめていくこととする道徳的実践意欲を培う。
		3	・千年先のふるさとへ—宮城県女川町 ・小さな手鏡	C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 A1 自主、自律、自由と責任	2	・その地に生きる人々を育んできた郷土が有する多様な側面に気づき、自らの郷土を愛し、主体的にその発展に努めようとする道徳的実践意欲を培う。 ・自己理解、他者理解、人間理解に基づく自己の生き方を考える大切さに気づき、道徳的自覺に支えられた自律的な生き方を通じて人間としての誇りを大切にしようとする道徳的実践意欲を培う。

指導時間 1学期：14時間、2学期：13時間、3学期：8時間、年間：35時間

評価について	・数値ではなく、記述によって評価する。 ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。 ・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。 ・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。 ・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。
--------	---